

本物。品訪  
鹿児島県 産探

2012かごしまの新特産品コンクール 日本百貨店協会会長賞

# 島津薩摩切子 切子額「萩と月」

薩摩切子を使用した額絵。薩摩切子をワンポイントとして使うことで、気軽にインテリアの中に取り入れられ、器とは違った新しい魅力を感じることが出来ます。

鹿児島市の株式会社島津興業 薩摩ガラス工芸 中根櫻龜なかねつぎさんにお話を伺いました。

すぎきな作品ですね

こだわりのポイントは

今後の抱負を教えてください

薩摩切子の代表的なものといえ器や皿類ですが、今回の作品は、月に見立てた黄色の薩摩切子とミラー効果のある萩の文様を入れた創作額絵です。ガラスの美しさを全体で表現するため、透明感のある素材を使用しており、透ける額絵なので、壁色などの背景色によりさまざまな表情を楽しむことができます。萩の色見え方も白や黒になつたりするんですよ。

インテリアとして気軽に使えるので、大切な人への贈り物はもちろん、自分へのご褒美として買われるお客さまも多いです。



工場に隣接する機工芸館には、色鮮やかに輝く薩摩切子がきれいに並んでおり、見入ってしまいます。

薩摩切子は、透明なガラスに色ガラスを被せ、これをカットすることにより、その境を曖昧にする「ぼかし」を出したカットグラスです。「ぼかし」の技法は薩摩切子にしかありません。この薩摩切子を生かした今までにないものを作りたい、日本の「和」を感じることが出来る作品にしたいという思いから、「萩と月」をイメージした額絵のアイデアが浮かび、作品づくりが始まりました。作品が完成するまでに約半年かかりましたね。また、額の制作については専門の表具師の方にお願いしました。透明感を出すためにアクリル板を使用しています。が傷が付きやすいため、細心の注意を払って制作しています。



「工場の職人は約30人。薩摩切子に魅せられて県外から来た職人もいますよ」と話す中根さん

当社が製造している島津薩摩切子は、鹿児島県指定の伝統的工芸品であり、独特の色彩と透明感がとても魅力的です。この伝統的工芸品の制作技術を傳承していかなければならないと思っています。

また、新たな復元品を制作したり、新しいデザインの薩摩切子を創作するなど、郷土のガラス工芸品をもっと身近に、誇りに感じてもらえるような作品を作りたいですね。



島津薩摩切子 切子額「萩と月」  
68,250円(税込) 縦30cm×横30cm×厚さ3.5cm

## プレゼントコーナー

薩摩切子柄レターセットを5名様にプレゼント。

応募締切 平成25年10月31日(木)

応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに  
①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号

③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

ハガキ宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。  
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



株式会社島津興業 薩摩ガラス工芸  
〒892-0871  
鹿児島市吉野町9688-24  
電話 099-2447-2111  
FAX 099-2447-8441  
<http://www.satsumakiriko.co.jp/>

広告